

7月5日（火）敵討ち

「敵討ち」という言葉を知っていますか。

福沢諭吉先生の「学問のすすめ」には、

「敵討ちはよくない」と書いてあります。

敵討ちとは、自分の仲間が殺されたら、

同じように相手を殺してしまうことです。

福沢先生の時代には、普通にあったことのようにです。福沢先生

は「そんなことをしても、何も解決しない」と言っているのです。

暴力に対して暴力で返すと、また相手が仕返ししてくるので、暴力が止まらなくなるのです。

暴力で何かしてくる人がいたら、先生や親など、大人に言ってやめさせましょう。そこで仕返しをしたら、暴力が止まらなくなります。

先生や親に言うのは、恥ずかしいことはありません。先生たちも、悪くないのに暴力をしてくる人がいたら、警察に言ってやめてもらいます。暴力で返して自分がケガをしたり、相手がケガをしても、いいことはないと思うのです。

